

バンダイ所有の世界のアンティーク・トイを展示する博物館

『The World Toy Museum』

2005年3月2日リニューアルオープン

～リニューアル第一弾の企画展は「いらっしやい萬代屋です」～

株式会社バンダイ

所在地：東京都台東区駒形 1-4-8

社長：高須武男 資本金：244億円

(株)バンダイは、自社所有の世界のアンティーク・トイコレクションを中心に展示を行う博物館『The World Toy Museum(以下ワールドトイミュージアム)』が、2005年4月に1周年を迎えることを記念し、3月2日よりリニューアルオープンすることとなりました。

ワールドトイミュージアム・リニューアル第一弾の企画展では、バンダイの歴史を振り返り過去に発売した様々な商品を展示します。1950年に萬代屋が設立され、今年で55年。その間、社会は劇的な変化を遂げ、おもちゃの技術も飛躍的にアップしました。バンダイも時代と共に変化を遂げ、現在に至ります。現在のバンダイの基礎となった会社設立当初における先人達の創意工夫を振り返りつつ、キャラクターだけではないバンダイの違った一面をご覧ください。

常設展示部分は、触ったり動かしたりして遊べる仕掛けやコーナーを増設し、より間近でおもちゃを体験でき、楽しんでいただけるようになりました。また、ミュージアム入口のショップ部分を拡大し、ラインナップを充実させました。

装い新たな“遊べる『ワールドトイミュージアム』”にご期待下さい。



「ワールドトイミュージアム」外観（外観はリニューアル前のものです）

オープン 2004年4月28日

所在地 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」内

2005 年春の企画展

いらっしやい！ 萬代屋です。

～あなたの知らないバンダイをお見せします～

2005年 3月 2日～ 2005年 7月 14日 開催

ワールドトイミュージアム・リニューアル第一弾の企画展では、バンダイの歴史を振り返ります。

1950年に萬代屋が設立され、今年で55年になります。その間、社会は劇的な変化を遂げ、おもちゃの技術も飛躍的にアップしました。バンダイも時代と共に変化を遂げ、現在に至ります。

現在のバンダイの基礎となった会社設立当初における先人達の創意工夫を振り返りつつ、キャラクターだけではなくバンダイの違った一面をご覧ください。



展示エリア

バンダイ設立の初期から 1970 年代ごろに発売された商品を展示いたします。

現在では“キャラクターのバンダイ”のイメージが強いですが、そればかりではなく、過去にバンダイから発売された名品・珍品などを紹介します。

プレイゾーン

現在販売されている最新のバンダイ商品で遊んでいただけるコーナーです。

バンダイホームページアドレス <http://www.bandai.co.jp>

ワールドトイミュージアムアドレス <http://www.worldtoy.jp/>

『The World Toy Museum』概要

『ワールドトイミュージアム』では、バンダイが2001年に「ロンドントイ&モデル博物館」より取得した約7千点のアンティーク・トイコレクションの中から選び抜かれた約1千点を11のゾーンにわけ展示を行っています。数ある展示品の中でも、館内中心部に展示される1900年代初頭に作られた大型炭鉱模型「モデル・コール・マイン」は日本初公開となる貴重なものです。

また展示品をただ見るだけでなく、作られた過程や仕組み、実際の動きなどを、実物や複製、再現映像などによりわかりやすく紹介するほか、常設展示に加え企画展なども行っています。なお、展示品はプリキのおもちゃコレクターとして有名な北原照久氏をはじめ各分野の専門家に監修していただきました。

バンダイではこの博物館を通じて、子どもから大人まで幅広い層に当時の文化や風俗を知ってもらい、おもちゃ文化や歴史への関心を持っていただくことを目的としており、楽しみながらおもちゃ文化を実感していただくカルチャーエンターテイメント施設として運営しています。

巨大な炭鉱模型「モデル・コール・マイン」

1904年より18年間かけて英国人夫妻によって作られた大型（幅472×高さ256×奥行264cm）炭鉱模型。実際の炭坑をモデルにその廃材で製作されたこのジオラマは、1924年に大英帝国博覧会に出品されたこともあります。炭坑内部で働く鉱夫達や炭鉱街の人々の暮らしを、170体あまりの人形や道具の動きによりリアルに表現。時間により実演するこのモデルは上下左右さまざまな方向から見ることができます。



「タイムズストリート」～「トイズコリドー」

木製にはじまり金属製、転がすものから動力を使ったものなど技術の進歩とともに変化していく18世紀～20世紀初頭のおもちゃの歴史を、展示品を通して説明します。実際にタイの王族に贈られたというキャデラック社製の電動乗用玩具も展示しています。また西洋の素朴なからくりおもちゃの仕組みを、実際に見たり、複製を通じて遊んでいただくコーナーもあります。

「鉄道模型の歴史」～「鉄道ジオラマ」～「鉄道模型」～「スチームエンジン」

バセットローク社やメルクリン社製の古典蒸気機関車モデルをはじめとする、ゼンマイや電気で動く鉄道模型創成期からのコレクション、科学文明の進歩と共に作られた各種エンジン模型などを展示しています。中には2メートルを超える大型蒸気機関車模型もあるほか、当時の街並みを再現したジオラマの展示、CCDカメラを操作して

街並みを楽しむことができる体験コーナーもあります。

「自動車模型」～「ミニカー」

ブリキやダイキャスト製の車やオートバイ、軍用車などのちょっと大きい乗り物玩具を展示しています。消防車の展示はそのまま発達の歴史を見ているようです。またミニカーコーナーは、ディンキー、コーギー、マッチボックスなど老舗のメーカーのコレクションを一同に展示しています。全長1メートルの大型消防車模型も是非ご覧ください。

「飛行機模型」～「船模型」

1900年代前半にドイツやイギリスで作られたブリキ製の飛行機や飛行船のおもちゃ、19世紀後半にフランスで作られた蒸気エンジンを搭載した優雅な船のモデルをはじめ、当時でも大変高価な船舶のおもちゃや模型を展示しています。

ミュージアムショップ

バンダイのおもちゃをはじめ、ぬいぐるみ、絵本、雑貨など楽しいものやかわいいものを取り揃えています。お菓子入り機関車缶などのオリジナル商品をはじめ、素敵なミュージアムグッズの販売も行っています。

施設概要

- <リニューアルオープン日> 2005年3月2日(水)
- <入場料金> 一般：700円 小中学生：400円 (税5%込み)
- <営業時間> 10:00～18:00(7～10月は時間延長)
休館日 第2・4火曜日
GW期間および7～10月は休まず営業いたします。
- <所在地> 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢
「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」内
TEL：0267-42-0501
- <交通> 電車) JR長野新幹線、しなの鉄道 軽井沢駅南口徒歩3分
車) 上信越自動車碓氷軽井沢I.Cから11.5km
- <施設面積> 1066㎡(地下1階 地上1階建)
- <館長> 宮澤 東(みやざわあずま)
バンダイ社内のミュージアム事業公募により館長に就任しました